

くろしお協力隊がゆく!



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
森元 秀典

昨年4月より、地域おこし協力隊としてふるさと納税支援の活動をしています、森元秀典です。

多くの方々のご協力のもと、お礼の品の出品数も順調に増え、おかげさまでふるさと納税の寄附金額を大きく伸ばすことができました。また寄附者様からは、黒潮町に対する応援のコメントや、お礼の品に対するお褒めの言葉をいただくこともあり、この業務に携わることが出来たことを大変ありがたく思っております。

3月から、この季節が旬の鮮魚や手づくりの木製おもちゃ、こだわりの加工食品など、黒潮町の魅力を感じられる新しいお礼の品が登場します。まだまだ魅力のあるものがたくさんありますので、全国の皆様により多く知っていただけるように努力していきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。



2016年度 協力隊の歩み

一足先に集落支援担当として活動していた篠田隊員に加え、黒潮町の地域おこし協力隊は昨年4月から増員となり、現在は5人で活動しています。移住促進、ふるさと納税、スポーツツーリズム、集落支援と、それぞれが地域に足を踏み入れ黒潮町の活性化に向けて取り組みました。

5人は担当している通常の仕事に加え、まるごと産業祭やTシャツアート展、潮風のキルト展での新規イベントの企画、楮栽培、消防団への加入、集落の知名度を上げるために看板を作成するなど、それぞれが持ち前の能力を多方面で発揮しました。

地域の課題を地域外からの視点で探し出し、地域の人々と同じ目線で考えながら日々活動に励んでいます。篠田隊員は3月を持って任期を終了しますが、4人の協力隊は引き続き地域活性化に努めます。来年度もまた、皆さんの暖かなご支援を引き続きよろしくお願いいたします。



であいの里のモーニング



町長から総務副大臣へ紹介をうけました



PRのため東京や大阪にも



スポーツツーリズムに励む塩崎さん



おはぎを手にする田中さん



篠田さん手作りの「御坊畑」看板



網さんの企画したイベントは大盛況



楮栽培に取り組む森本さん(右)